

広報 おまえ



特集
空き家の適正管理と有効活用

放水はじめ！

大江町消防団春季消防演習が4月28日、左沢小学校で開催されました。演習には町立保育園の園児たちも参加し、大勢の観客が見守る中、大人顔負けの放水を披露してくれました。

平成25年

5

No.627



特集

空き家の適正管理と有効活用

結婚、就職、住み替えなど、人はさまざまな理由で住み慣れた家を離れざるを得ないことがあります。人が離れ、空き家になった建物は定期的に管理をしなければ、汚れ、傷み、最終的には倒壊する危険性があります。

近年、町内では放置された空き家が増加し、家屋の倒壊、景観への障害、防犯、衛生面などさまざまな問題が懸念されています。町ではこの状況を踏まえ4月1日から「空き家等の適正管理に関する条例」を施行するとともに、利用可能な空き家を有効に活用するため「大江町空き家・空き地情報提供システム」の充実を図っています。今回は町の空き家対策について紹介します。

5年間で空き家の数は1.5倍に

空き家の状況を把握するため、町では昨年10月に各区長の協力のもと空き家の実態調査をおこないました。その結果、町内の空き家数は、240棟（小屋なども含む）となり、本調査の場合、人が住まなくなった地域は調査対象に入っていないため、潜在的にはこれよりも多いことが予想されます。なお、平成19年に実施した調査では、166棟だったことから、ここ5年で74棟の空き家が増加していることが分かります。

また、地区ごとの空き家の内訳は左沢地区113棟、本郷地区55棟、七軒地区72棟となっています。世帯数が最

も多い左沢地区が一番多くなっていますが、本郷地区および七軒地区では、世帯数が多い本郷地区よりも世帯数の少ない七軒地区に多くの空き家があり、特に七軒地区内の一部の区では、家屋の半数ほどが空き家となっているところもあります。

活用可能な空き家も多い

空き家の中でも、農作業や家財の保管などのため定期的に管理されているものもあり、その数は240件のうち101件となっています。これら管理されている空き家については、貸出や売買など定住促進への活用が期待されます。



▲家を守るためには、空気の入替えなどの常日頃の管理が大切

逆に全く管理されていない空き家は活用が難しく、そのまま放置し続けると倒壊する危険性もあります。今回の調査で倒壊などの危険性が指摘された空き家は3件確認されています。

求められる空き家の適正管理

空き家の主な原因として、居住者

▲空き家を管理する上で冬の雪下ろしは必要不可欠（写真は今年2月におこなわれた小清区雪下ろし体験）

◀雪の重さで倒壊した家屋（昨年2月）



の住み替え、死亡、福祉施設への入居などが挙げられます。さらに空き家子どもなどが相続しても、町外に暮らしている場合は管理が難しく、そのまま放置されることもあります。家は管理をせずに放置しておくとかびや虫、湿気によってどんどん傷んでいきます。月に1回程度は窓を開けて空気の入れ替えをしたり、庭木の手入れなど定期的な管理が必要です。また冬期間は雪の問題もあり、特に積雪量が多い場所では雪下ろしをせずに数年が経過すると、倒壊する危険性があります。

このように空き家を維持していくには適正な管理が必要です。解体という選択肢もありますが、作業にお金がかかること、家財道具が残っていたり建物自体に思い入れがあることなどを理由に、解体に踏み切れない場合が多くみられます。

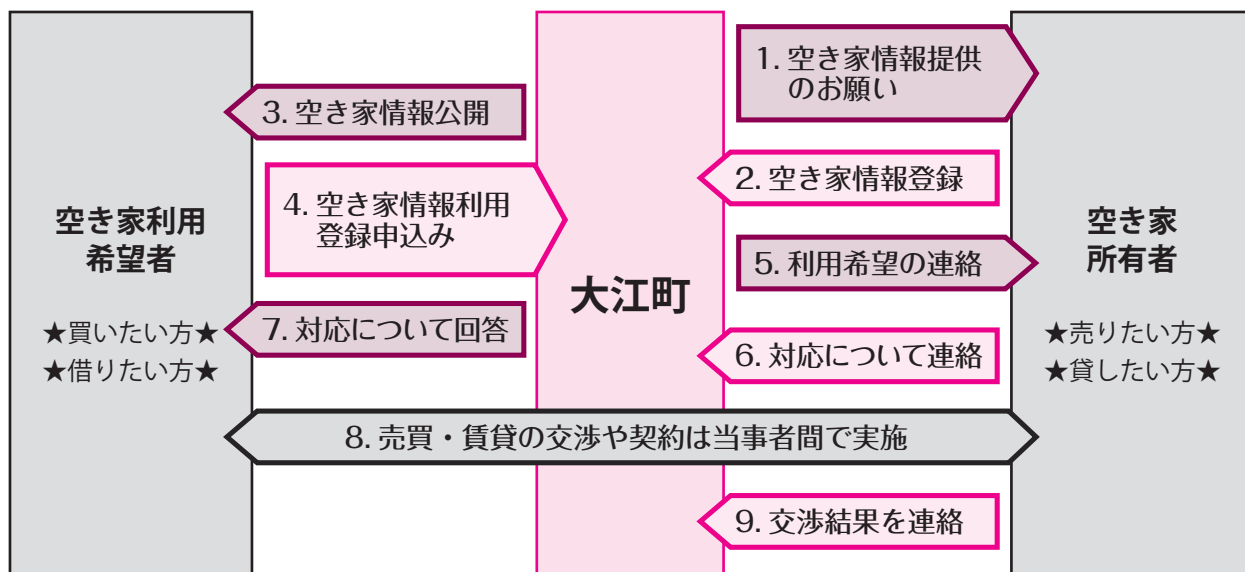
管理者のいない空き家では風景・景観の悪化、ゴミなどの不法投棄の誘発、不法侵入や不審火、倒壊などにより周りの人に危害をおよぼす可能性があります。また、荒れた状態となってしまうと活用することが難しくなっていきます。空き家の放置は町全体の住環境に大きな影響を与えてしまいます。

大江町の空き家調査結果の比較

	総世帯数		増減	空き家数		増減
	平成19年	平成24年		平成19年	平成24年	
左 沢	2132	2117	△0.7%	90	113	25.6%
本 郷	638	674	5.6%	35	55	57.1%
七 軒	164	149	△9.1%	41	72	75.6%
合計	2934	2940	0.2%	166	240	44.6%

※総世帯数は各年の4月1日現在の数値です

大江町空き家・空き地情報提供システムの流れ



10万円補助 大江町空き家利用 促進奨励金の要件

町内に定住する方で

- ① 大江町空き家・空き地情報提供システム利用者であること。
- ② 所有者との間で空き家の売買・賃貸借契約を締結していること。
- ③ 当該空き家に住所を異動していること。
- ④ 交付対象者が所有者の3親等以内の親族でないこと。
- ⑤ 当該空き家の利用見込が一年以上であること。

条例で所有者に適正管理 が義務付けられる

町では管理されない空き家の発生・増加を防ぐために「大江町空き家等の適正管理に関する条例」を4月1日から施行しました。これは空き家の適正管理を持ち主に義務づけるとともに、周囲への生命・財産などに影響を及ぼす恐れがある場合については、管理不全として適正な管理を所有者に求めていくものです。町は管理不全な空き家の所有者に対して、助言、指導、勧告、命令をすることができ、それでも改善されなかった場合は所有者の氏名や住所、空き家の所在地、命令違反の事実などを公表することができるようになります。

なお、公表しても解決できない場合や所有者が判明しない場合、空き家をそのまま放置しておく事故が発生する恐れがある場合は、問題に応じて民法、災害対策基本法、消防法など現行法に規定されている内容に沿って対応する予定です。

空き家を定住促進に活用

町では条例で空き家の適正管理を

進めるとともに、町への定住・移住促進の重要な資源として活用するために「大江町空き家・空き地情報提供システム」（通称、空き家バンク）の充実を図っています。これは町が空き家を賃貸・売買物件として町ホームページ内で紹介し定住・移住促進につなげていく取り組みです。

町はホームページやチラシなどで空き家の所有者に、空き家情報の提供や空き家バンクへの登録を案内します。登録を希望する所有者は、町にその旨を連絡いただき、町は連絡を受けた本人や代理人の立ち会いのもと物件の現状を調査し、所有者と建物の履歴や概要、屋内の様子、希望価格などを確認して、町のホームページ内に情報を掲載します。

空き家利用希望者は、家族構成や希望物件、賃借売買の条件などを町に連絡し利用登録をおこないます。利用希望者は登録後、希望する物件のより詳しい内容や現地を確認します。利用する意向が固まれば、町は利用希望者を持ち主へ紹介します。なお、町としては交渉、契約には直接関与せず、当事者間での話し合いにより契約してもらうようお願いしています。詳しい流れは右図のとおりです。



◀引越し後に、パネル式のマットの設置や障子の張り替えをおこなったそうです

大江町の空き家を借りている方を訪ねました

アクセス、自然、商店街、大江町は魅力的です

橋本光弘さんご一家(伏熊区)

4月に京都府京丹後市から引っ越してきました。夫婦に子ども2人の4人家族です。有機農業を目指し、今年から就農研修生として大江町でお世話になっています。

実家がある福島原発事故をきっかけに、縁があつて京丹後市に避難していましたが、両親に月1回は孫と会わせたいと思つた物件を探していたところ、就農研修生を受入れ、山形県の中央に位置し、近くに高速道路が通っている大江町を見付けることができました。

大江町に引っ越してきて、子どもたちは「山がきれい、大きい川がある」と喜んでます。また町内にある商店街は八百屋、文房具屋、たい焼き屋さんなど種類が豊富ですし、地元の良いものが買えるのでよく利用しています。特に鍋を持って買いにいける豆腐屋さんはお気に入りですね。

空き家バンクがあるということは、その町が移住者を受け入れたいという意思を町外にアピールすることになります。また、引っ越しを考えている人は、この制度を利用すれば地元の皆さんから暖かく迎えてもらえると考えます。この制度を活用すればさらに人が入って来やすい環境づくりにつながるのではないのでしょうか。

また、より多くの方々から空き家を活用してもらつたため町では昨年12月から奨励金制度を創設しています。これは、町内に定住・移住する方に、1世帯につき10万円を交付するものです。

空き家バンクへの問合せは年々増加

町の空き家バンクには、県外の方を中心に年々問い合わせが増えていきます。問い合わせの多くは自然の中での子育てや就農、古民家での生活を求め、敷地の広い空き家や豊かな自然がある農村部や山間部に魅力を感じています。

大江町の住宅は、中心市街地の左沢地区、農村部の本郷地区、山村部の七軒地区と各地区でバリエーションが豊富なことに加え、それら3地区が主要地方道大江西川線で一本に結ばれていること、町内にJR左沢駅があるなど、アクセス面の評価が高いことが問い合わせが増える理由となっています。

情報の登録をお願いします

現在、問い合わせは増えているものの空き家バンクに登録されている物件は少ない状況です。地区によっては空き家バンクだけが唯一の情報提供の機会となることもあります。

空き家の利用は、住もうとする人にとっては初期投資が少なく、所有者は空き家を活用することができるとなるとお互いにメリットがあります。また、町の定住・移住促進にもつながります。無料で登録することができ、空き家をお持ちの方はぜひ登録をお願いします。

※お問い合わせは、政策推進課 政策推進係 ☎(62) 2118 まで



▲現在バンクに登録されている空き家の一つ(左沢地区)

重要文化的景観

「最上川の流通・往来 及び左沢町場の景観」

国選定記念シンポジウム

「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」が国の重要文化的景観に選定された事を記念し、3月30日、ふれあい会館を会場にシンポジウムが開催されました。当日の基調講演やパネルディスカッションの様子をお伝えします。

①基調講演

「文化的景観を活かした地域づくり」

シンポジウムでは、はじめに文化庁記念物課の鈴木地平技官より「文化的景観を活かしたまちづくり」と題し基調講演会がおこなわれました。**〈基調講演の要旨〉** 重要文化的景観の重要とは、①価値が高い、日本のどこに



▲青芋の葉が盛り込まれている本郷東小の校章。「地元の特産品を大切にする気持ちが伝わってくる」と鈴木氏

もないこと、②景観を大事に思い守っていきたい人がいる、という意味です。

景観はその土地で先人たちがずっと暮らしてきた中で育まれてきたものなので、住んでいる人ほど「普通の景観」と思いがちです。例えば、大江町なら本郷東小学校の校章は青芋をモチーフにしており、昔は本郷・七軒で広く青芋の栽培をおこない、生活の重要な糧となっていたことを表しています。これは日本全国大江町にしかありません。何気ない風景が実は「ただならぬ普通」だということを知ることが大事です。

皆さんはこれからも大江町で暮らしていくので、家の建替えなど時代にあわせて景観が変わってしまうことは当然の流れです。ただその時「良いものがあつたら残す、良くないものは直す、建てるのならいいものをつくる」という考え方でまちづくりを進めることが大切です。

②パネルディスカッション

「景観を守り・伝え・活かすまちづくり」

志村 重要文化的景観をまちづくりに活かすため、ただならぬ普通を感じている鈴木技官と地元の方3人から景観を守り・伝え・活かすという観点でお話を伺いたいと思います。

鈴木 町づくりの極意は、①大江町のファンを増やす、②楽しんで活動する、③無理はしないの3つです。①は町の魅力を訪れた方に話すことです。②③はセットで考えます。まちづくりは時間を要するため、活動を長く続きさせることが大切です。

庄司 私たちの地元は、「大江町だな」と感じてもらえるよう取り組みをおこなっています。具体的には夏まつりの青竹ちょうちんまつり、秋まつりの囃子屋台です。これからもうこうした活動を続け、次の世代に伝えるということが私たちの役目だと

まちづくりの極意はファンを増やす・活動を楽しむ・無理はしないこと



基調講演講師 文化庁記念物課技官 鈴木 地平さん

まちづくりのヒントは町民の皆さんが実際に見て感じるにあります



東北芸術工科大学デザイン工学部教授 志村 直愛さん

景観、町の文化につながる活動を続け次の世代へつなげたい



左沢中央通り商店街 会長 庄司 俊夫さん(7区)



▲かつて左沢駅前にあった映画館「左沢倶楽部」で使用された懐かしの映画ポスター・チラシ展も同時に開催されました



▲志村教授コーディネートのもと鈴木氏と3人のパネリストから意見が出されました

◀重要文化的景観の重要な構成要素の一つ金子家の様子

感じています。
石川 去年初めて大江中学校の生徒が、「町の観光ガイドを学ぶ」という学習をおこないました。この取り組みは今年も予定しておりますので、何年か続けていけば生徒が大人になった時、町の魅力を町外の人に話したり、思い出してもらえるものと感じています。
山家 重要文化的景観は我々大人たちの在り方が問われていると思います。私は10年以上、毎日夫婦で散歩し

ていますが、街は本当にきれいです。この魅力を大人から子どもたちへ伝えていけば、この町からたくさんのおいしい人財が生まれると思います。まずは大人が町内の文化的景観を歩いてみることはじめてはどうでしょうか。

志村 先ほど鈴木技官から、いいものは残す、良くないものは直す、いいものをつくるというアドバイスがありました。これには、町の良ところ、悪いところ、さらにどうやって作ればいいのか理解する必要があります。ヒントは、町民の皆さんが実際に感じて感じる場所にあると思います。みんながまち歩きをして感じたことをどんどん話し合ってください。そうすれば10年20年後の町はもっとよくなると思います。

◀正式に選定されたことを示す官報6013号の号外63号。平成25年3月27日発行

○文部科学省告示第五十号

文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四十四号）第百三十四条第一項の規定により、次の表に掲げる文化的景観を重要文化的景観に選定する。

平成二十五年三月二十七日

文部科学大臣 下村 博文

名称	所在地	区	面積
最上川の流 通・往来及び 左沢町場の景 観	山形県西村山郡大江町	大江町大字左沢、同大字本郷の各一部、 一級河川最上川の一部、 一級河川月布川の一部、 一級河川市の沢川の一部	二五五・九 ヘクタール

備考 地域に関する実測図を山形県教育委員会及び大江町教育委員会に備え置いて縦覧に供する。



前県立左沢高等学校校長
山家 貴代さん(7区)



町観光ボランティアガイドの会 会長
石川 博資さん(葛沢)

町は本当にきれい
大人も率先して
街を歩いてみましょう

子どもたちが大人になった時
町の魅力を話せるように
なってもらいたい



▲ 3月17日に開催された第3回検討会の様子



◀ 標示看板には避難場所、経路のほか水害で記録された実際の浸水高も標示されています

■災害発生時の避難誘導を助ける ～まるごとまちごとハザードマップ～

左沢百目木地区を中心に、洪水などの災害発生時に住民の避難を支援する「まるごとまちごとハザードマップ」が3月末に完成しました。

この事業は、国土交通省が全国の自治体と連携しておこなっているもので、町中にある電柱などに避難経路や避難場所を示した看板を設置することで、災害発生直後の混乱期においても避難場所まで安全に避難できるよう支援することを目的としています。

本町では昨年11月に住民検討会を開催して以降、現地確認などもおこないながら安全な避難経路や看板の設置場所を決定し、避難場所となる左沢小学校までの合計23か所に設置しました。

1967年の羽越水害の際、町内では洪水で多くの家が被害を受け、その中心が百目木地区でした。

国土交通省山形河川国道事務所の武田課長は「検討会の中で羽越水害を語り継いでいかなければならないとの意見が出されました。マップでは避難誘導のほか、水害時の浸水高も知ることができ、地域の防災意識の啓発にも役立ちます。これをきっかけに洪水の怖さを子どもたちに語り継いでほしいです」と話してくれました。

■県内初の施設内学校がスタート ～大江町立左沢小学校・大江中学校「藤田の丘分校」開校式～

山形県立朝日学園で4月4日、左沢小学校および大江中学校「藤田の丘分校」の開校式がおこなわれました。

これまで朝日学園では、指導員による「教育に準じる教育」がおこなわれてきましたが、分校が設置されたことで、公立小・中学校の教員が学校教育としておこなうようになりました。施設内に学校が設置されるのは県内でも初めてのことです。

今年分校に配属される先生は佐藤亨教頭ほか6名。充実した学習指導を支えるため朝日学園の施設職員も授業に参加し、協力して指導にあたります。また、分校独自の教育活動として詩吟や茶道、特別

養護老人ホームでの奉仕活動などの実施を予定しています。

児童生徒代表の生徒はあいさつの中で「今日という日をとても楽しみしていました。これをきっかけにもっと勉強をがんばりたいです」と決意表明をしました。



▲今年度の新規就農研修生の受け入れ式もおこなわれました



◀渡辺誠一協議会会長

■新規就農者と共に農業の活性化 ～大江町就農研修生受入協議会(OSINの会)設立総会～

新規就農研修生を受け入れる農家で組織する、大江町就農研修生受入協議会(OSINの会)の設立総会が4月17日、町の研修施設(旧大江中学校寄宿舎)でおこなわれました。

現在町には町外から農業を学びにきている研修生がいます。協議会では今後、先進地視察や定期的な勉強会を企画するなど受け入れ態勢の向上をはかりつつ、より多くの研修生を勧誘し、町の農業の活性化につなげていく予定です。

総会で選任された渡辺誠一会長は「活動の拠点となる旧寄宿舎はまだまだ余裕があるので、より多くの仲間を受入れて、一緒に大江町の農業を盛り上げたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

平成25年度 大江町消防団春季消防演習

平成25年度の大江町消防団春季消防演習が4月28日開催されました。会場となった左沢小学校および内町横町通りでは、消防団員による消防操法、一斉放水訓練、分列行進、幼年消防クラブによる放水披露などがおこなわれました。

演習終了後には、ふれあい会館において消防活動に功績があった方々が表彰されました。

◀一斉放水訓練の様子



消防庁長官表彰

- ◎ 永年勤続功労章／鈴木直喜
- ◎ 永年勤続退団者／大谷奈翁人、鈴木隆之、佐藤克則、鈴木 真、伊藤和幸

山形県知事表彰

- ◎ 金条章／第2分団第6部
- ◎ 特別功労章／菊地啓司
- ◎ 功労章／横山邦弘、富樫辰志、柏倉正広、大泉雅裕
- ◎ 功績章／金山 浩、伊藤健二、林善昭、松田秀樹
- ◎ 精錬章／最上健介、伊藤 学、菊地俊一、漆畑 諭

日本消防協会会長表彰

- ◎ 功績章／安食幸治
- ◎ 精錬章／海野 晋

山形県消防協会会長表彰

- ◎ 優良章／庄司信也、川村雅俊、佐竹輝明、渡邊寛寿、佐竹秀一、林 正行
- ◎ 永年勤続25年／菊地邦弘、松田通
- ◎ 永年勤続20年／早坂和彦、古口 修
- ◎ 永年勤続15年／大谷孝幸、松田秀樹、白田和彦、渡辺重敏、高橋優一、吉野克一、兼子貴行、関根 脩、公平 勝、伊藤知久、佐竹一徳、柏倉邦雄、荒木宏治、宇津江由明

山形県消防協会西村山支部長表彰

- ◎ 優良分団／自動車分団第2部
- ◎ 優良団員／鈴木由紀男、高野文弥、工藤和明、林 和憲、菊地 誠、小野友和、佐藤耕治、庄司英樹、渡辺智彦、後藤恒一、清野洋輔、鈴木勝己、鈴木聡、金山智人、庄司 武、柏倉則夫、高橋吉彦

大江町長表彰

- ◎ 優良団員／菊地政輝、堀 陽一、北本一考、櫻井鉄平、安食洋祐、鈴木貴之、清野 厚、前田 司、柏倉友樹、高橋 実

大江町長感謝状

- ◎ 元分団長／菊地啓司、海野 晋、菊地和之、松田久仁実
- ◎ 一般協力者／林 昭一

大江町消防団長表彰

- ◎ 優良機関／第1分団第2部、第4分団第2部
- ◎ 特別功労賞／海野 晋、菊地和之、松田久仁実 (敬称略)



▲小型ポンプ操法

人権擁護委員を紹介します

4月1日付で本町の人権擁護委員として、佐藤廣子さん(13区)と鈴木修一さん(月が丘)が委嘱されました。今後は現委員の高橋五郎さん(栖山)と庄司百合子さん(藤田)のあわせて4人で活動していただくこととなります。

また、町では役場会議室にて毎月1回(第一月曜日)人権相談窓口を開設しています。不当な差別、職場・学校でのいじめ、近所間のトラブルなど人権問題でお困りの際はお気軽にご相談ください。



- ① 佐藤廣子さん(再任・写真右)
鈴木修一さん(新任・写真左)
- ② 平成19年から6年間人権擁護委員を務めた大沼敬さん(9区)には感謝状が贈られました。

3/30 地元の木材をおしゃれに

～女性限定ウッドバーニングワークショップ～

電熱ペンを使用し木にさまざまな絵や模様を描く、女性限定のウッドバーニングワークショップが3月30日、(有)庄司林業(中沢口区)で開催され、県内外から女性10名が参加しました。

当日は東京から講師として参加した「aco.さん」指導のもと、地元木材を利用したコースター、ボタン、ハガキ作りに挑戦。参加者は電熱ペンを駆使して、木材を少しずつ焦しながら文字や花、キャラクターなど思い思いのものを描きました。

ワークショップを主催した、山業ビジネス&プロジェクトの庄司樹さんは「山や木について、沢山の方に興味をもって頂きたいと考えており、ウッドバーニングを通して七軒地区からオシャレを発信していきたいです」と話してくれました。

おやつはチョコレートフォンデュ。ワークショップは薪ストーブを囲みながら和やかなムードの中おこなわれました▶



◀感謝祭当日のメニューは干し柿の天ぷら、あさづきの酢味噌和え、凍み大根の煮物など8品目

4/7 旬の食材を“おふくろの味”で

～農村食堂「おぐら亭」1周年感謝祭～

「生き活き十八才まんまの会」が運営する農村食堂「おぐら亭」で4月7日、1周年感謝祭がおこなわれました。

「おぐら亭」は昨年5月から小倉交流館を拠点に営業を開始しており、料理は地元十八才地区で採れる旬の農作物や山菜を地元で伝わる“おふくろの味”で調理します。おいしく、ヘルシーなことから“十八才若がりランチ”として親しまれており、去年は期間中の第2・4日曜日に1日20食限定で営業したところ、毎回それを超える方が訪れました。

「おぐら亭」では更に10人以上の団体で申し込んだ場合は、曜日にかかわらず営業をする予定です。代表の渡辺よし子会長は「去年は多くのお客様から喜んで食べてもらい、とても自信になりました。これからも会員みんなで楽しみながら、さらにランチファンが増えるようにがんばりたいです」とうれしそうに話してくれました。

4/8 総合学科いよいよスタート

～県立左沢高等学校入学式～

今年から新たに総合学科が導入された県立左沢高等学校で4月8日、入学式がおこなわれました。

総合学科は生徒の進路にあわせて科目を自由に選択できるのが特徴で、西村山地区では左沢高等学校に唯一導入されました。

3月におこなわれた入学試験の志願倍率は昨年よりも高い1.08倍。例年以上の厳しい受験を乗り越えてきた新入生(総合学科第1期生)120人に対し孫田淳左沢高等学校長は「入学おめでとう。これからはじまる高校生活、総合学科のカリキュラムをとおして地域社会を担う立派な人材に育ててほしい」とあいさつしました。

新入生代表の相原涼太さんは「左沢高校に入学することができうれしいです。高校での3年間をとおして自分自身で困難を乗り越えていく力を身につけたい」とこれからの高校生活に対して決意を表明しました。



新入生代表の相原亮太さん▶

4/9 交通事故のない町を目指して

～平成25年 春の交通安全県民運動～

平成25年度春の交通安全県民運動が、4月6日から15日までの10日間実施されました。

4月9日には、左沢駅前五差路など町内3か所で街頭指導をおこない、朝の通勤、通学者への安全歩行や走行、飲酒運転の根絶、シートベルトの着用などを呼びかけました。街頭指導後には交通安全協会をはじめとする関係団体約60名が参加しての交通安全祈願祭を開催しました。

昨年度の大江町の交通事故の発生件数は、前年比7件増の27件でしたが、死亡事故は発生しませんでした。この状況を継続させるには日頃の心がけが重要です。春は新入学生の通学や、新たに自動車免許を取得した新社会人の通勤など交通事故の発生しやすい時期です。この運動をきっかけに、交通安全への意識をさらに高め「事故のない安全で安心なまち」を目指しましょう。



交通安全祈願祭の様子▶

4/17 本郷東支部が初代チャンピオンに

～平成24年度OGCC表彰式～

昨年度、町内で開催された体育協会関連スポーツ大会の成績を総合し、最も優秀な成績を修めた支部をグランドチャンピオンとして表彰する、OGCC(Oe Grand Champion Cup)の表彰式が4月17日、中央公民館でおこなわれ、本郷東支部が初代チャンピオンに輝きました。

OGCCは、スポーツを通じて明るく活気ある地域づくりを目指し、体育協会が昨年度から実施しました。成績はポイント制でおこなわれ、各支部は昨年度に開催された体育協会や加盟競技団体主管のスポーツ大会での成績、参加状況などを評価されポイントが加算されていきます。本郷東支部は各大会の成績に加え、個人でも高い参加率であることが今回の受賞につながりました。

《Oe Grand Champion Cup結果》

1位	本郷東	2位	左沢北	3位	藤田
4位	三郷	5位	左沢西	6位	本郷西

4/27-29 声援を力に気合の走り

～第58回県縦断駅伝競走大会～

春の県内を駆け抜ける第58回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日にかけておこなわれました。

今年の寒河江西村山チームには、本町から清野大地さん(堂屋敷)菊地春紀さん(深沢)、古澤哲平さん(諏訪原)、古川康之さん(5区)、佐藤和也さん(螢水)の5人が選手としてエントリー。それぞれ出場した区間を必死に走り抜け、チームのタスキをつなぎました。

2日目の大江中継所となった左沢橋前では、寒河江西村山チームはトップと1分差の3位でタスキをつなぎ見事な走りを見せてくれました。

- ①初日、本合海中継所の菊地・古澤選手
- ②2日目大江中継所を通過する寒河江西村山チーム



◆わだいの交差点に掲載できなかった情報の一部は、町ホームページの「フォトおうえ」に写真を掲載していますのでご覧ください

「忘却とは、忘れ去ることなり。忘れ得ずして、忘却を誓う心の悲しさよ」小学生のころ毎日ラジオから流れるこの言葉を聞いた。今でも頭にこびりついている。

土と空気と水と、人間の体はもとより、遺伝子までも「めっちゃくちゃ」にした「原子爆弾」を、忘れかき、忘れてもいいような気分の「平和」。三、四カ月前のあの攻撃的な豪雪、鯉のぼりの青い空に忘れてしまいたいような春。「覚えて・忘れる」の繰返しが生んだという人もいる。だけど、忘れる簡単さから見れば、覚えることのなんと難しいことか。情報過多社会、何を覚えて何を忘れるか、この逆は。

15880人と306人・3月11日の震災で亡くなった全国と宮城県亘理町の人数。亘理町の慰霊祭に招かれた。遺族代表は小学校5年生の女の子。お母さんを津波がさらっていった。お母さんを「忘れたくとも、忘れることができない」と桜と菊で飾られた慰霊塔に向かって語りかけた。静かな会場で母と子の会話が聞こえたように思った。「減災を備災に、防災を学災に、脱・卒原発を非原発に」を「忘れたくとも、忘れることができない」ほど頭に入りたい。母が子を、子が母を忘れないような安全安心を生めるかどうか。中央公民館の前に立つ「非核平和宣言の町」の看板、先人を誇りに思う。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.01

左沢原町通り沿いに位置する沿道では最大級の商家です。江戸時代から戦前まで造り酒屋を営み、春勇や富久豊年という銘柄の酒を地方一帯に出荷していました。現在は当時の原町の繁栄を象徴する貴重な建築物として、重要文化的景観の重要な構成要素に認定されています。

母屋は明治の竣工とされ、店蔵、塀、門が通り沿いに並んで建ち、屋根を赤みがかった浅瓦で統一することで家屋全体に一体感を演出しています。江戸期竣工とされる店蔵は一階に赤瓦を載せた重厚な雁木が、2階部は漆喰彫刻や大きな鬼瓦が構えられ、さらに後の改築により底を支える2本の柱や入口両脇に煉瓦が盛り込まれるなど洋風の要素が取り入れられており、近世の伝統的な構えと近代建築の影響が入り混じった貴重な商家遺構です。



▲伝統と洋風が調和した店蔵

清野家



簡易マップ



ALT通信 マットの おおえ生活 No.28

★このコーナーでは、小見在住のALT（外国語指導助手）マットさんが、日常生活で感じたことなどを伝えます。

Everyone how have you been? Since my last article I've had a few adventures and gained some great experience along the way. Recently, my wife's family and I decided to take part in the "Ohe-no-umaimonoichi" again this year. I was a little hesitant at first, because last year we made 100 hamburgers and it took almost 6 hours to cook them all. So this year we are going to make a bigger BBQ, so that we can cook more hamburgers at one time. In order to make the grill, I get to learn how to stick weld. I've done MIG welding before, so I thought it would be easy, but after my first failed attempt of welding legs onto the base of the BBQ, I realized it's going to take a while before I get the hang of it. But I'm not worried, because you cannot fail unless you stop trying.



▲BBQ作成に向けて奮闘中のマットさん

皆さん、お元気ですか？ 前回の記事以来、私はちょっとした冒険とおもしろい経験ができました。最近、コロポックルの家族と一緒に今年も「大江のうまいもの市」に参加することに決めました。実をいうと、その話になったところでちょっと不安でした。なぜならば昨年、100枚のマットバーガーを焼くために6時間ぐらいかかったからです。ですから今年、一気にたくさん焼けるようにもっと大きなバーベキュー台を作ろうとしています。それがきっかけでアーク溶接の勉強の機会が巡ってきました！ ガス溶接をしたことがあるので、簡単ななと思いましたが、バーベキュー台の脚の溶接を何回か失敗したところで、練習が必要だなと分かってきました。だけど心配はしていません。なぜなら、あきらめなければ成功するしかないからです。

元気の秘訣は食事です

村上 むらかみ 優真 ゆうま さん
 (20歳・みなみ区)

「お客様の大切なものを預かるので常に緊張感をもって仕事をさせてもらっています」と話す村上さん現在は郵便局に勤めています。

仕事では郵便、貯金、保険の3つの業務を取扱っているため、幅広い知識が求められ、また左沢郵便局をはじめ、町内外7つの局のお客さまと郵便物やお金をやり取りするため、気力と体力が求められるそうです。現在はどんな目的でお金を預かっているか貯金や保険契約の理解するため日々勉強中とのこと。

忙しい毎日をおくる村上さん、元気の秘訣を聞いたところ「朝のご飯とみそ汁、夜は納豆を好んで食べています。学生の頃はパンでしたが仕事を始めてからはパンだとエネルギーがもたなくて…。この3つを食べていれば間違いないですね」と教えてくれました。



Youthful
 トーク

● 短歌 ●

大津波町も皆な浚いし術もなく幾何ばかり魚求めり

雪解の音を聞きつつ我が心春の足音光り求めゆ

京東山桜爛漫コンサートシユウベルト名曲音色脳裏過ぎ

我が庭の日だまりに咲く福寿草春を告げしと微笑みかける

平凡な家族と暮す幸せをしみじみ思ふ八十路となりぬ

うららかな日差しを浴びてチューリップお芽々が出たよと孫三つ

願わくば思い残すこともなく椿の花の散るが如くに

いくたびも一人では逝けぬと言った友春浅き日に黄泉路よみじに発ちぬ

寒き日に女子高生の売りに来し二鉢の花今さかりなり

暮なじむ茜に過ぎし日忍びつつ花咲き揃う春を楽しむ

菊地つねよ

松田 馥

菅井 妙子

堀 トヨエ

佐竹 麗子

長岡かづ子

佐竹 與鼓

伊藤 和子

斎藤 徳治

清野 伝蔵

● 俳句 ●

鶯やもみじの枝で春を告ぐ

白木蓮蕾膨らむ日向かな

たんぼぼのティアラ笑顔にかがやけり

この畦や探し求めた露の臺

春日ざし解けたる霰堰満たす

水温む野の声となり水疾し

春泥の獣の形くづれけり

蒼穹の農夫急がる種下し

落椿落ちて一円玉拾ふ

林 忠逸

菅井 妙子

今井 茂樹

松田 馥

鴨田富士夫

秋元喜一郎

熊谷 勉

舟山 三男

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

知事と語るろう市町村ミーティング in 大江町

本町出身の吉村美栄子県知事が大江町を訪れ「知事と語るろう市町村ミーティング」が開催されます。多くの方の参加をお待ちしています。

◆日時／5月16日(水) 13時30分～15時30分

◆場所／町民ふれあい会館

※参加希望する方は電話などでご連絡ください

※託児有(事前申し込みが必要です)

※お問い合わせは、総務課情報システム係☎(62)2187まで

国選定重要文化的景観のまち 左沢を歩こう

蔵、老松、土塀の情緒ある「左澤のまち」を歩いてみませんか。新たな町の魅力を発見できるかも。国選定となった最上川舟運が偲ばれる文化的景観のまちを感じてみましょう。

◆日時／5月17日(金) 午後1時30分～午後3時30分

◆集合場所／左沢駅

太極拳無料体験教室のご案内

◆内容／90分程度まちを歩きます
◆その他／歩きやすい服装
※お申し込み、お問い合わせは、中央公民館☎(62)3666まで

◆日時／5月18日(土) 19時～20時30分

◆対象／どなたでも参加できます

◆指導者／阿部文明先生(双樹会)

◆場所／中央公民館中ホール

◆持ち物／運動できる服装、飲み物、タオル

※お問い合わせは、大江スポーツクラブ・STEP☎(62)3663まで

平成25年度第1回大江のうまいもの市開催!

大江のうまいもの・いいものを販売するイベント「大江のうまいもの市」を今年も開催します。みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

◆日時／6月2日(日) 9時30分～14時

◆場所／左沢駅前周辺

◆イベント内容／スイーツフェア、お楽しみ抽選会、さくらんぼプレゼント、旬の山菜販売、季節のケーキ振る舞い、ミニライブなど

※イベント詳細については、次回お

知らせ版発行時(5月23日)のチラシをご覧ください。

※当日は左沢駅前のロータリー、駐車場、駐輪場の使用ができませんので、交流ステーションまたは旧マツクスバリユ跡地への駐車をお願いします。

※お問い合わせは、大江町商工会☎(62)4128または政策推進課起業推進係☎(62)2139まで

電話で健診のおすすめてしています

今年度、町の健診を申し込んでいない大江町国民健康保険加入の40歳～74歳の方に、町で委託している在宅保健師が、年間を通じて電話で受診のおすすめてをしています。

日ごろの健康管理のため、町の健診をお役立てください。自分のため、家族のために、年に一度は必ず健診を受けましょう。

※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係☎(62)2114まで

農産物等放射性物質検査費補助金

町内の農業者が農産物などの安全性を確認するため、検査機関に放射性物質の検査を依頼する場合、次の

内容により補助金を交付します。

◆交付対象者／町内に住所を有する農業者で、町税を滞納していない方
◆補助対象経費／販売を目的として生産する農産物について、検査機関(検査証明書を発行する機関)に放射性物質検査を依頼した場合の経費、ただしサンプル代、送料は対象外

◆補助金の額／経費の3分の2の額(千円未満切捨)で、1検体2万円限度、なお交付は一世帯あたり年間2検体まで

※お問い合わせは、農林課農政係☎(62)2115まで

第19回西村山陸上競技選手権大会 兼第29回山形県小学生陸上競技大会西村山地区予選会

◆日時／6月2日(日)

◆場所／寒河江高等学校グラウンド

◆参加対象／西村山管内の学校に在学する小学生(5・6年生)および中学生。管内在住あるいは同出身者で日本陸連に登録している高校生一般

◆申込方法／参加申込個票に必要事項を全て記入し、参加料500円(リレーは1チーム1000円)を添えて、5月16日(木)まで、小学生は体育センターへ、中学生および高校生は顧問の先生に、一般は陸協事務局に、それぞれ申し込んでください。



陶芸教室 伊藤みよ

リレー随想／ 《第71回》

子育てならぬ「親育て」

まさか、私がPTAの親方となつて先頭に立っているとは20年前には予想もしていなかった。恐らく、これも今年度一杯で終わるのだろうが。結婚当初は寒河江市に住んでいたため、長男は友人の幼稚園に入らせていただき、小学校に入る年から左沢に戻ってきた。戻ったと同時に、長女は大江幼稚園にお世話になりその時から子

育てとは別にPTAに引き込まれていった。

幼稚園の先生や父兄と知り合いになり、長男がスポ少に入つては世代を超え、また左沢以外の地域の方との交流が始まったし、長男の学年役員にも選ばれ一気に色々な方との付き合いとなった。

それは、3人居る子供の分だけ交友が広がり、地域においては子ども会、また、囃子屋台など子供達の活動と共に更に地区の活動や町全体のPTA活動にも及んで行った。

末っ子が小学校高学年の時にはPTA会長を拝命し、長女は中学で、長男は高校の部活で私の行動範囲は県内各地に広がった。

当時は面倒な思いもあった中、色々な所へ出掛けたが、今となっては「あの時しか出来なかったな」と振り返る。

更に、我が家では今年度で義務教育が終わると同時に私のPTA活動も終わりを迎える。

「ブタもおだてりゃ木に登る」ブタはいくらおだてても木には登らないし、木に登っているブタは見たことがない。だが、先輩諸兄におだてられた私は、いつの間に

か引かれたレールに乗って木へ登ってしまったようだ。

また、「このリレー随想」ではないが、同じように後輩へもレールを引いてきた自分がおり、暗黙の了解のような役がリレーとなつて続いていくのであろう。

地域の方を始め色々な方々と交流が出来たことは、子供たちがいたからこそで、また、私自身前でも話さなければならぬ事で、知識も含め考え方が偏らないように人間として大きくなれたよう子供たちに感謝している。

これが子育てか？と言うと逆に子供たちを通して周囲の方々に育てられ、子育てと言う名の「親育て」であったと今になって思う。

更に、別の意味でお付き合いと言う場面が増え、家内には苦勞を掛けたと思っており、この文面を借りて家族に迷惑を掛けたことへの謝罪と感謝を伝えたい。

多かれ少なかれ、親は子育てをしながら成長していくもので、PTAという冠が無くなつても、もう暫くは子育てと言う名の「親育て」を楽しみたいと思っている。

(12区 伊藤 圭一)

人口と世帯(前月比)

町の人口 9,048人(-27)
男 4,449人(-13)
女 4,599人(-14)
世帯数 2,915戸(-4)

平成25年5月1日現在

戸籍の まど

3月21日～4月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
梨木原	清野 美桜	女	貴志・梢
9区	高子 繭	女	紀彦・紫衣
13区	村上 優紘	男	亜紀夫・美紀
深沢	菊地 柚羽	男	秀治・奈加
貫見	玉羽 蓮	男	拓人・愛磨
藤田	清野 蔵	男	伸・裕子
6区	山内 はるか	女	クレベル・留美

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
上北山	林 正己	(88)
藤田	鈴木おなつ	(79)

藤田	鈴木源太郎	(90)
蛭水	西田フミヨ	(80)
藤田	長岡さわゑ	(89)
7区	大沼 清	(70)
13区	村上 俊三	(81)
藤田	菅野 富夫	(87)
9区	庄司トシヨ	(84)
諏訪原	佐竹 満雄	(88)
伏熊	佐竹 昭子	(50)
用	齋藤 高治	(86)
9区	安藤 直子	(82)
小	結城 幸雄	(85)
9区	白田ヨシコ	(89)